

コ	ス	総合歯科学Ⅱ (General Dentistry Ⅱ)	
学年・期・単位	第6学年・通年・20単位	科目担当責任者	櫻井 孝 (顎顔面診断科学講座 放射線学分野・准教授)
オフィスアワー	月曜日～木曜日 17:00～19:00 (第2研究棟1階放射線学第3研究室)	メールアドレス	sakurait@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	質の高い歯科医療を実践するために必要な知識・技能・態度を完成させるため、一般教養、基礎医学、臨床歯科学に関連する全ての項目について横断的に学習すると共に、特定の事象から問題点を抽出し、深い考察を加えて問題解決するための症例縦断的な学習を行うことにより、総合的な観点に基づいた歯科医療を実施することができる。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔解剖学	歯科医療の実践に必要な口腔解剖学の知識を総合的に理解する。
2. 口腔組織学	歯科医療の実践に必要な口腔組織学の知識を総合的に理解する。
3. 口腔生理学	歯科医療の実践に必要な口腔生理学の知識を総合的に理解する。
4. 口腔生化学	歯科医療の実践に必要な口腔生化学の知識を総合的に理解する。
5. 口腔病理学	歯科医療の実践に必要な口腔病理学の知識を総合的に理解する。
6. 口腔細菌学	歯科医療の実践に必要な口腔細菌学の知識を総合的に理解する。
7. 歯科薬理学	歯科医療の実践に必要な歯科薬理学の知識を総合的に理解する。
8. 歯科理工学	歯科医療の実践に必要な歯科理工学の知識を総合的に理解する。
9. 口腔衛生学	歯科医療の実践に必要な口腔衛生学の知識を総合的に理解する。
10. 歯科医療社会学	歯科医療の実践に必要な社会医療歯科学の知識を総合的に理解する。
11. 歯科保存学 (修復)	歯科医療の実践のために必要な歯科保存学 (修復) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
12. 歯科保存学 (歯内)	歯科医療の実践のために必要な歯科保存学 (歯内) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
13. 歯科保存学 (歯周)	歯科医療の実践のために必要な歯科保存学 (歯周) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
14. 歯科補綴学 (全部床)	歯科医療の実践のために必要な歯科補綴学 (全部床義歯) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
15. 歯科補綴学 (部分床)	歯科医療の実践のために必要な歯科補綴学 (部分床義歯) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
16. 歯科補綴学 (歯架工)	歯科医療の実践のために必要な歯科補綴学 (歯架工) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
17. 口腔外科学	歯科医療の実践のために必要な口腔外科学の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
18. 歯科矯正学	歯科医療の実践のために必要な歯科矯正学の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
19. 小児歯科学	歯科医療の実践のために必要な小児歯科学の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
20. 医療面接	歯科医療の実践のために必要な医療面接の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
21. 歯科放射線学	歯科医療の実践のために必要な歯科放射線学の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
22. 歯科麻酔学	歯科医療の実践のために必要な歯科麻酔学の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
23. 障害者歯科学	歯科医療の実践のために必要な障害者歯科学の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。
24. 形成的評価および総合評価	定期試験 (前・後期における基礎・応用試験)、夏季必修試験による客観的評価により自分の習熟度を理解し、習熟度が不十分であった部分を復習することで必要な知識を習得することができる。

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔解剖学	歯科医療の実践に必要な口腔解剖学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	口腔解剖学	1. 口腔と咽頭の構造を理解し、説明できる。 2. 唾液腺と舌の構造を理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライドにより解説する。	松尾雅斗	F-2-2)-①⑦ F-2-2)-②⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-6-A-a
2	4/5		顔面骨と顎関節の構造を理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライド、頭蓋骨モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-①⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-9-A,B
3	4/12		咀嚼筋の構造と機能を理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライド、頭蓋骨モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-② 総Ⅰ-(Ⅰ)-9-C
4	4/12		表情筋・前頸筋の構造と機能を理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライドにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-②⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-9-C
5	4/19		1. 外頸動脈の走行、分布域を理解し、説明できる。 2. 口腔の静脈の特徴を説明できる。 3. 口腔のリンパの流れを理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライド、頭蓋骨モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 必3-A-c
6	4/19		三叉神経の経過と支配域を理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライドにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-④ 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-D-a
7	4/26		顔面神経の経過と支配域を理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライド、頭蓋骨モデルにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-③ 必3-A-c
8	4/26		舌咽神経、舌下神経、迷走神経の経過と支配域を理解し、説明できる。	例題を提示し、資料集、スライドにより解説する。	松尾雅斗	F-2-1)-④ 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-D-a
9	6/28		表情筋、顔面神経、顔面動脈の位置関係と臨床的意義を説明できる。	臨床解剖実習を行う。	松尾雅斗	F-2-1)-②③ 総Ⅰ-(Ⅰ)-9-C
10	6/28		咀嚼筋群、顎関節と顎動脈の位置関係と臨床的意義を説明できる。	臨床解剖実習を行う。	松尾雅斗	F-2-1)-①②③ 総Ⅰ-(Ⅰ)-9-C
11	7/26		頭蓋骨の構造と歯科学的基本平面の構成に必要な点と平面を設定できる。	頭蓋骨実習を行う。	松尾雅斗	F-2-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-A
12	7/26		局所麻酔や拔牙、歯科小手術に必要な臨床術式と解剖学的構造を説明できる。	提示カメラ、スライドにより解説する。	松尾雅斗	F-2-2) 必3B,C 総Ⅰ-(Ⅰ)4~12
13	8/1		印象採得や義歯床縁決定に必要な臨床術式と解剖学的構造を説明できる。	提示カメラ、スライドにより解説する。	松尾雅斗	必3B,C 必3B,C 総Ⅰ-(Ⅰ)4~12
14	9/5		咀嚼や嚥下に関わる構造と機能を説明できる。	提示カメラ、スライドにより解説する。	松尾雅斗	F-2-2) 必3B,C 総Ⅰ-(Ⅰ)4~12
15	9/5		まとめ	筆記試験を行う。	松尾雅斗	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔組織学	歯科医療の実践に必要な口腔組織学の知識を総合的に理解する。

参考書		
書名	著者名等	発行所
口腔組織・発生学	脇田 稔 ら編	医歯薬出版
組織学・口腔組織学 サイドリーダー	東 一善, 高橋 理	医学書院

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6	口腔組織学	人体の正常構造と機能を理解し解説できる。	資料を配布し解説する。	高橋 理	D-2-(3) 必-6-A
2	4/6		人体の正常構造と機能を理解し解説できる。	//	高橋 理	D-2-(3) 必-6-B,C
3	4/13		人体の発生、成長、発達、加齢を理解し解説できる。	//	高橋 理	D-2-(2),(4) 必-7-A
4	4/13		人体の細胞と組織学的構造を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(1) ~ (3) 総(III)-1-B
5	4/20		人体の細胞と組織学的構造を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(1) ~ (3) 総(III)-1-F,G
6	4/20		人体の細胞と組織学的構造を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(1) ~ (3) 総(III)-1-H,I
7	6/24		人体の発生、成長、発達、加齢を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(4) 総(IV)-1-A ~ C
8	6/24		歯・口腔・顔面の発生を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(4) 総(IV)-1-H
9	7/20		歯・口腔・顔面の発生を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(4) 総(IV)-3-A ~ C
10	7/20		加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(4) 総(IV)-3-D ~ F
11	8/31		加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化を理解し解説できる。	//	高橋 理	F-2-(4) 総(IV)-3-G ~ J
12	9/20		まとめ	筆記試験を行う。	高橋 理	
13	9/20		まとめ	//	高橋 理	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔生理学	歯科医療の実践に必要な口腔生理学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/11	口腔生理学	口腔生理学の知識の習熟度を確認する。	演習問題を行う。	高橋聡子	D-1-3),D-2, F-2-1),F-2-2)  必6-A-d,f 必6-B-b, 必6-C-e,f 総(Ⅲ)-2-A～I 総(Ⅳ)-3-A～P 総(Ⅳ)-4-J 総(Ⅴ)-5-A～D
2	4/11		細胞膜の機能、神経の興奮伝導を理解し解説できる。	資料を配布しパワーポイントを用いて解説する。演習問題を行う。	高橋聡子	D-1-3)-①～③, D-2-3)-(5)-①,④,⑤, ⑧,⑨  必6-A-d 総(Ⅲ)-1-B,I
3	4/15		1. 自律神経系の機能を理解し解説できる。 2. 骨格筋の機能を理解し解説できる。 3. 体液の恒常性を理解し解説できる。	//	高橋聡子	D-2-3)-(5)-②,③,⑦,⑩ D-2-3)-(2)-①～④ D-2-3)-(9)-②,③  必6-A-f 総(Ⅲ)-2-A,D,F
4	4/15		1. 呼吸器系の機能を理解し解説できる。 2. 循環器系の機能を理解し解説できる。	//	高橋聡子	D-2-3)-(7)-①,② D-2-3)-(3)-①～⑥  必6-A-f 総(Ⅲ)-2-C,D
5	4/22		1. 血液の機能を理解し解説できる。 2. 消化吸収の機能を理解し解説できる。	//	高橋聡子	D-2-3)-(11)-①～④ D-2-3)-(6)-①～③  必6-A-f 総(Ⅲ)-2-B,I
6	4/22		1. 内分泌の機能を理解し解説できる。 2. 腎臓の機能を理解し解説できる。	//	高橋聡子	D-2-3)-(8)-① D-2-3)-(9)-①  必6-A-f 総(Ⅲ)-2-E,H
7	6/22		1. 唾液の機能を理解し解説できる。 2. 味覚の機能を理解し解説できる。	//	高橋聡子	F-2-2)-④,⑤ D-2-3)-(4)-④  必6-B-b,c 総(Ⅳ)-3-L,O 総(Ⅴ)-5-C,D
8	6/22		1. 咀嚼の機序と機能を理解し解説できる。 2. 顎反射の機序と機能を理解し解説できる。	//	高橋聡子	F-2-2)-⑥ D-2-3)-(5)-⑥ F-2-1)-⑥,⑦  必6-B-b 総(Ⅳ)-3-A,B,C,E,F,K 総(Ⅴ)-5-A
9	7/28		1. 体性感覚、口腔感覚、歯の感覚の機序と機能を理解し解説できる。 2. 嘔吐の機序と機能を理解し解説できる。	//	高橋聡子	D-2-3)-(4)-①,② F-2-2)-①  必6-B-b 必6-C-e,f 総(Ⅲ)-2-G 総(Ⅳ)-3-H,I,L,M,N 総(Ⅳ)-4-J
10	7/28		1. 吸嚥・嚥下の機能を理解し解説できる。 2. 発声の機序と機能を理解し解説できる。	総合演習問題を行い解説する。	高橋聡子	F-2-1)-⑧ F-2-2)-⑦  必6-B-b 総(Ⅳ)-3-D,G,J 総(Ⅴ)-5-B
11	9/9		まとめ 口腔生理学の知識を確認する。	演習問題を行う。	高橋聡子	D-1-3),D-2, F-2-1),F-2-2)  必6-A-d,f 必6-B-b, 必6-C-e,f 総(Ⅲ)-2-A～I 総(Ⅳ)-3-A～P 総(Ⅳ)-4-J 総(Ⅴ)-5-A～D

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔生化学	歯科医療の実践に必要な口腔生化学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/12	口腔生化学	1. 細胞膜の分子構造と機能を説明できる。 2. 分子から見た細胞の構造と機能を説明できる。	配付資料およびパワーポイントを使用して解説する。	居作和人	D-1-3)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-A-a
2	4/12		細胞の核および膜系の細胞内小器官の構造と機能を説明できる。	//	居作和人	D-1-1)-①~③ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-A-b,c
3	4/15		タンパク質を構成するアミノ酸の種類と構造を説明できる。	//	居作和人	D-1-1)-① 必6-A-d, 総(Ⅲ)-1-A
4	4/15		タンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。	//	居作和人	D-1-1)-① 必6-A-d, 総(Ⅲ)-1-A
5	4/19		核酸の構造、機能および代謝を説明できる。	//	居作和人	D-1-2)-① 必6-A-a, 総(Ⅲ)-1-D
6	4/19		遺伝子の構造とその複製機構が説明できる。	//	居作和人	D-1-2)-② 必6-A-a, 総(Ⅲ)-1-D
7	4/25		転写と転写調節の機序を説明できる。	//	居作和人	D-1-2)-② 必6-A-a, 総(Ⅲ)-1-D
8	4/25		翻訳の機序を説明できる。	//	居作和人	D-1-2)-② 必6-A-a, 総(Ⅲ)-1-D
9	4/27		まとめ	筆記試験を行う。	居作和人	
10	6/24		結合組織と細胞外マトリックスを説明できる。	配付資料およびパワーポイントを使用して解説する。	居作和人	D-1-4)-⑤ D-2-3)-(1)-④ 必6-A-c,d, 総(Ⅲ)-1-A,G
11	6/24		コラーゲン、エラスチンの構造と機能を説明できる。	//	居作和人	D-1-4)-⑤ D-2-3)-(1)-④ 必6-A-c,d, 総(Ⅲ)-1-A,G
12	7/27		グリコサミノグリカン、プロテオグリカンの構造と機能を説明できる。	//	居作和人	D-1-4)-⑤ D-2-3)-(1)-④ 必6-A-c,d, 総(Ⅲ)-1-A,G
13	7/27		骨の形成と吸収の機構を説明できる。	//	居作和人	D-2-3)-(1)-⑦ 必6-A-e, 総(Ⅲ)-1-E,G
14	8/26		唾液の作用とう蝕について説明できる。	//	居作和人	F-2-2)-④ 必6-D-c, 総(Ⅳ)-5-A
15	8/31		まとめ	筆記試験を行う。	居作和人	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔病理学	歯科医療の実践に必要な口腔病理学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/7	口腔病理学	循環障害を理解し解説できる。	パワーポイントと配布資料により解説する。	槻木恵一	D-4-3) 必14-A-h 総 I -(IV)-4-A ~ C
2	4/7		代謝障害を理解し解説できる。	//	槻木恵一	D-4-1) 必14-A-j,k 総 (IV)-2-A
3	4/22		進行性病変を理解し解説できる。	//	槻木恵一	D-4-2) 必14-A-l 総 (IV)-3-A ~ F
4	4/22		炎症を理解し解説できる。	//	槻木恵一	D-4-4) D-4-6) 必14-A-d,e,i 総 (IV)-5-A ~ F 総 (IV)-6-A ~ H
5	4/28		腫瘍を理解し解説できる。	//	槻木恵一	D-4-5) 必14-A-g 総 (IV)-7-A ~ I
6	4/28		1. 奇形を理解し解説できる。 2. 先天異常、発育異常	//	槻木恵一	F-2-3) 必14-A-b 総 (IV)-1-A ~ B
7	6/22		1. 歯科的疾患を理解し解説できる。 2. う蝕、歯髄の疾患、歯髄炎、歯周組織の疾患	//	槻木恵一	F-3-2),F-3-3) F-3-3)-(2) F-3-3)-(3) F-3-3)-(4) 必14-B-a,b 総 (IV)-11-B
8	6/22		非歯原性腫瘍を理解し解説できる。	//	槻木恵一	F-2-4)-(3) 必14-B-j 総 (IV)-11-G
9	6/28		歯原性腫瘍を理解し解説できる。	//	槻木恵一	F-2-4)-(3) 必14-B-j 総 (IV)-11-G
10	6/28		唾液腺腫瘍を理解し解説できる。	//	槻木恵一	F-2-4)-(5) 必14-B-l 総 (IV)-11-G
11	8/29		炎症性疾患を理解し解説できる。	//	槻木恵一	F-2-4)-(2) 必14-B-h 総 (IV)-2-B,C
12	8/29		嚢胞性疾患を理解し解説できる。	//	槻木恵一	F-2-4)-(3) 必14-B-i 総 (IV)-11-F
13	9/1		1. 検査の基本を理解し解説できる。 2. 細胞診、組織診	//	槻木恵一	
14	9/1		まとめ	筆記試験を行う。	槻木恵一	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔細菌学	歯科医療の実践に必要な口腔細菌学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/8	口腔細菌学	1. 微生物の種類と特徴および細菌の形態と構造について説明できる。 2. 特殊な細菌、真菌、原虫とウイルスの性状と感染症について説明できる。	資料を配布し解説する。	浜田信城	D-3-1)-① 総-(IV)-1-H-1-a 総II-(IV)-2-F-b~d 総I-(IV)-1-H-1-a
2	4/8		化学療法の特徴と滅菌法および消毒薬の特徴について説明できる。	//	浜田信城	D-3-1)-①③④ 総II-(V)-1-c 必14-H-a 総I-(I)-1-B-a~f
3	4/11		1. 免疫の概念および自然免疫と獲得免疫について説明できる。 2. 感染と発症について説明できる。	//	浜田信城	D-3-1)-② D-3-2) 総I-(IV)-1-H1,H2 総I-(IV)-1-H1~3 総I-(I)-13-B-1
4	4/11		免疫に関与する臓器と細胞について説明できる。	//	浜田信城	D-3-2)-③ 総I-(I)-13-A-1,A-2 総I-(IV)-1-H-3
5	4/21		1. 抗原と抗原提示について説明できる。 2. 免疫グロブリンについて説明できる。	//	浜田信城	D-3-2) D-3-2)-② 総I-(I)-13-B-1~3 総I-(IV)-1-H-3
6	4/21		細胞性免疫と遅延型アレルギーについて説明できる。	//	浜田信城	D-3-2)-⑤⑥⑦ 総I-(I)-13-B-4 総I-(I)-13-C 総I-(IV)-1-H-3
7	6/27		齧蝕病原細菌の性状について説明できる。	//	浜田信城	F-3-2)-①④⑤ 必5-A-a,b 総I-(I)-14-D,F 総I-(IV)-2-A,B 各II-(I)-1-A
8	6/27		1. 歯周炎の病型と病理機序について説明できる。 2. 歯周病原細菌の病原因子および性状について説明できる。	//	浜田信城	F-3-2)-④ 必5-A-a,b 総I-(I)-14-F-b 総I-(IV)-2-B 各V-(II)-4-A~E
9	8/5		1. 口腔内の化膿性炎、特異性炎とウイルス感染症について説明できる。 2. 口腔感染症に起因する全身疾患について説明できる。	//	浜田信城	F-1-1)-② F-2-4)-(2)-①②③⑤⑥ ⑧⑨⑩ F-2-4)-(5)-③ 必8-C-f,h 総I-(IV)-2-P-a,b 各II-(II)-3-A 各IV-(III)-5-A~C 各IV-(V)-1-A-2 各V-(II)-4-F
10	8/5		歯科臨床と感染予防と留意すべき疾患について説明できる。	//	浜田信城	D-3-1)-③ F-1-4)-⑥ F-2-4)-(7)-②⑩ 必14-(H)-a,b 必11-C-a~d 総II-(VII)-2-C-3 各IV-(V)-1-A-1,2
11	9/1		まとめ	筆記試験を行う。	浜田信城	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科薬理学	歯科医療の実践に必要な歯科薬理学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/4	歯科薬理学	薬物療法の目的と適用方法を理解し解説できる。	資料を配布し解説する。	高橋俊介	D-5-2)-① D-5-3)-①  必15-B-a 必15-Z-a 総(X)-9-A,B,K~Q
2	4/4		薬物動態を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-3)-②  必15-Z-b 総(X)-9-C
3	4/20		薬物の用量と反復投与を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-2)-④,⑤  必15-Z-e,f 総(X)-9-G,H
4	4/20		薬物の副作用・有害作用を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-4)-①  必4-E-a 必15-Z-h 総(X)-9-I,K~Q 各IV-(IV)-2-I,J
5	4/25		薬物の効果を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-2)-⑥  必15-Z-c,g 総(X)-9-D,E,K~Q
6	4/25		薬物の作用機序を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-2)-③  必15-Z-d 総(X)-9-F,K~Q
7	6/23		薬物適用上の注意を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-2)-①~⑥  必15-Z-i 総(X)-9-J~Q
8	6/23		薬物の管理と処方、処方箋を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-1)-①~③  必4-E-a 総(X)-9-R
9	7/22		薬理学に関する一般教養事項と薬物の治験を理解し解説できる。	//	高橋俊介	D-5-1)-①~③  必4-E-a 必17 総(X)-9-S
10	7/22		歯科薬理学の知識を総合的に理解し確認できる。	総合演習問題を行い解説する。	高橋俊介	D-5-1)~4)  必15-X-a~i 必17 総(X)-9-A~S
11	9/2		まとめ	筆記試験を行う。	高橋俊介	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科理工学	歯科医療の実践に必要な歯科理工学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/7	歯科理工学	歯科医療にて使用されている材料の素材および物性を理解し解説ができる。	資料を配布し、PCにて解説を行い、理解度を試験にて確認する。	青柳裕仁	E-1①, ②, ③, ④  総 (XI)-1-A ~ H
2	4/7		歯科医療にて行われている歯科精密鑄造に関わる材料の素材および物性を理解し解説ができる。	//	青柳裕仁	E-1①, ②, ③ E-2①, ②, ③, ④  必15-AC-a,b 総 (XI)-4-A ~ K 総 (XI)-5-A,B 総 (XI)-6-A ~ C 総 (XI)-12-A ~ E
3	4/8		歯科医療にて行われている歯科精密鑄造に関わる材料の素材および物性を理解し解説ができる。	//	青柳裕仁	E-1①, ②, ③ E-2①, ②, ③, ④  必15-AC-a,b 総 (XI)-4-A ~ K 総 (XI)-5-A,B 総 (XI)-6-A ~ C 総 (XI)-12-A ~ E
4	4/8		歯科医療にて使用されている金属材料の結晶学、力学および組成と用途を理解し解説ができる。	//	青柳裕仁	E-1①, ②, ③ E-2④  必15-AC-c 総 (XI)-1-C ~ H 総 (XI)-7-D 総 (XI)-8-G ~ K 総 (XI)-9-G ~ M 総 (XI)-12-F ~ I 総 (XI)-13-C
5	4/21		歯科医療にて使用されている無機材料の結晶学、力学および組成と用途を理解し解説ができる。	//	青柳裕仁	E-1①, ②, ③, ④ E-2④  必15-AC-d 総 (XI)-1-B,E ~ H 総 (XI)-7-C,E 総 (XI)-8-B ~ F 総 (XI)-9-E 総 (XI)-11-A ~ D 総 (XI)-13-B 総 (XI)-14-A ~ F
6	4/21		歯科医療にて使用されている有機材料の構造および組成と用途を理解し解説ができる。	//	青柳裕仁	E-1①, ②, ③, ④ E-2④  必15-AC-e,f 総 (XI)-1-A,E ~ H 総 (XI)-7-A,B,E 総 (XI)-8-A,L 総 (XI)-9-A ~ F 総 (XI)-10-A ~ D 総 (XI)-13-A 総 (XI)-14-A

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
7	4/26	歯科理工学	歯科医療にて使用されている有機材料の構造および組成と用途を理解し解説ができる。	資料を配布し、PCにて解説を行い、理解度を試験にて確認する。	青柳裕仁	E-1①, ②, ③, ④ E-2④  必15-AC-e,f 総 (XI)-1-A,E ~ H 総 (XI)-7-A,B,E 総 (XI)-8-A,L 総 (XI)-9-A ~ F 総 (XI)-10-A ~ D 総 (XI)-13-A 総 (XI)-14-A
8	4/26		歯科医療にて使用されている生体適合性材料の組成および用途を理解し解説ができる。	//	青柳裕仁	E-1①, ②, ③ E-2④  総 (XI)-1-G,H 総 (XI)-7-F ~ H 総 (XI)-16-A ~ D
9	6/23		歯科医療にて使用されている機材の構造と使用目的および歯科技工に関連する技術と手技を理解し解説ができる。	//	青柳裕仁	E-2④, ⑤  必15-AC-g 総 (XI)-2-A ~ D 総 (XI)-3-A,B 総 (XI)-9-L 総 (XI)-14-A ~ F 総 (XI)-10-D 総 (XI)-11-A ~ D 総 (XI)-12-A,F,G
10	6/23		上記講義内容の行動目標の達成を確認する。	//	青柳裕仁	
11	8/2		まとめ	筆記試験を行う。	青柳裕仁	
12	8/2		まとめ	//	青柳裕仁	
13	8/26		まとめ	//	青柳裕仁	
14	9/2		まとめ	//	青柳裕仁	
15	9/2	まとめ	//	青柳裕仁		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔衛生学	歯科医療の実践に必要な口腔衛生学の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6	口腔衛生学	1. 疫学の総論について説明できる。 2. 歯科領域の疫学調査について説明できる。	資料を用いて解説する。	川村和章	C-4-1)-①② C-4-2)-①③  総-(Ⅱ)-10-A,B,C,D,E, F,G,I
2	4/6		歯科領域における統計指標について説明できる。	//	川村和章	C-4-1)-③  総-(Ⅲ)-10-H,I
3	4/13		1. 口腔不潔因子と口腔清掃の意義について説明できる。 2. 口腔清掃指導について説明できる。 3. 口腔清掃の種類について説明できる。 4. 口腔清掃法について説明できる。 5. 食事・間食指導について説明できる。 6. 生活習慣指導について説明できる。	//	木本一成	C-3-2)-①  各Ⅰ-6-A,B,C,D,E,F
4	4/13		齲蝕の予防・管理について説明できる。	//	木本一成	C-3-2)-①  各Ⅰ-1-A,B,C,D,E,G
5	4/14		1. 健康及び疾病予防の概念について説明できる。 2. 口腔保健管理について説明できる。 3. 健康保持・増進について説明できる。	//	川村和章	C-1)-①②③ C-3-1)-①②③  総-(Ⅰ)-1-A,B,C,D,E 総-(Ⅱ)-1-A,B,C,D,E, F,G,H 総-(Ⅱ)-5-B
6	4/14		1. 健康保持・増進について説明できる。 2. かかりつけ歯科医機能について説明できる。	//	川村和章	C-4-1)-② C-3-2)-④  総-(Ⅱ)-1-A,B,C,D,E, F,G,H 総-(Ⅰ)-4-D,F
7	4/18		フッ化物による齲蝕予防について説明できる。	//	木本一成	C-3-2)-②  各Ⅰ-1-F
8	4/18		1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 歯周疾患の予防について説明できる。 3. 不正咬合の予防について説明できる。 4. 口臭の予防について説明できる。 5. その他の疾患の予防・管理（一部の検査、機能検査等を含む）について説明ができる。	//	木本一成	C-3-2)-①  各Ⅰ-2-A,B,C,D,E,F 各Ⅰ-3-A,B,C,D 各Ⅰ-4-A,B,C 各Ⅰ-5-A,B,C,D,E,F,G,I 総-(Ⅸ)-1-A,C,E,G,L,P
9	4/27		1. 母子歯科保健について説明できる。 2. 妊産婦の口腔保健管理について説明できる。 3. 乳幼児の口腔保健管理について説明できる。	//	川村和章	C-3-2)-③④  総-(Ⅱ)-2-A,B,C,D,E, F,G,H,I
10	4/27		1. 学校歯科保健について説明できる。 2. 学童・青年の口腔保健管理について説明できる。	//	川村和章	C-3-2)-③④  総-(Ⅱ)-3-A,B,C,D,E,F
11	5/9		1. 成人・老人歯科保健について説明できる。 2. 成人・老人期の口腔保健管理（加齢老化による歯・口腔・顎・顔面の変化を含む）について説明できる。 3. 要介護者高齢者の歯科保健について説明できる。	//	木本一成	C-3-2)-③④  総-(Ⅴ)-6-A,B 総-(Ⅱ)-5-A,B,C,D 総-(Ⅱ)-6-A,B,C,D,E,F,G

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
12	5/9	口腔衛生学	1. 障害者歯科保健（障害者保健福祉・精神保健福祉を含む）について説明できる。 2. 障害児・障害者の口腔保健管理について説明できる。 3. 産業歯科保健について説明できる。	資料を用いて解説する。	木本一成	C-3-2)-③④ 総-(Ⅱ)-7-A,B,C,D 総-(Ⅱ)-8-A,B,C,D 総-(Ⅱ)-4-A,B,C,D,E,F,G
13	5/10		人口統計と保健統計について説明できる。	//	川村和章	C-4-2)-①② 総-(Ⅱ)-9-A,B
14	5/10		1. 感染症対策について説明できる。 2. 食生活の現状と対策について説明できる。 3. 国民栄養と食品保健について説明できる。	//	川村和章	C-2)-①② 総-(Ⅱ)-11-A,B 総-(Ⅱ)-12-A,B,C,D,E,F
15	5/18		1. 環境保健について説明できる。 2. 大気・水の健康影響について説明できる。 3. 騒音・振動の健康影響について説明できる。 4. 屋内環境管理について説明できる。	//	川村和章	C-2)-①② 総-(Ⅱ)-13-A,B,C,D,E,F,G,H,I,J
16	6/1		1. 社会と歯科医療（患者の人権、医の倫理、歯科医療の質と安全の確保を含む）について説明できる。 2. 予防と健康管理・増進について説明できる。	//	木本一成	C-3-1)-①②③ C-3-2)-③④ 必1-A,B 必2-A,B,C,E 必3-A,必4-A,B,C
17	8/1		1. 地域保健について説明できる。 2. 母子保健について説明できる。 3. 学校保健について説明できる。 4. 産業保健について説明できる。 5. 成人保健について説明できる。 6. 老人保健・介護保険について説明できる。	//	木本一成	C-3-2)-③④ 必3-B,C,D,E,F,G
18	8/1		1. フッ化物応用について説明できる。 2. 生活習慣と口腔の健康について説明できる。 3. 口腔清掃について説明できる。 4. 検査・臨床判断の基本について説明できる。 5. 口腔機能のリハビリテーションについて説明できる。 6. チーム歯科医療について説明できる。 7. 一般教養的事項について説明できる。	//	木本一成	C-3-2)-①② B-1-4)-①②③ 必3-H,I,J 必11-D,12-A,B,C,D, 15-AA,AB 必16,17
19	8/2		まとめ	//	川村和章	
20	8/2		まとめ	//	川村和章	
21	8/31		まとめ	//	木本一成	
22	8/31		まとめ	//	木本一成	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科医療社会学	社会の目まぐるしい発展に伴い変化していく歯科保健・医療・福祉・介護における社会的要請に対応できるよう、歯科医学教育を通して研鑽する歯科保健・医療・福祉・介護技術を合理的に社会に連結して行く原理、方法、制度などを社会的な立場から系統化し、認識する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	歯科医療社会学	1. 医の倫理と生命倫理を概説できる。 2. 歯科医師と患者・家族との関係を説明できる。 3. 患者・障害者のもつ心理・社会的問題を説明できる。 4. 歯科医師の心理・社会的問題を説明できる。 5. 歯科医療の社会的背景を説明できる。 6. 保健・医療・福祉の制度を説明できる。 7. 臨床研究・治験と倫理を説明できる。 8. 医の倫理と歯科医師を説明できる。 9. 歯科医師と患者・家族との関係を説明できる。 10. クオリティーオブライフ (QOL) を説明できる。 11. リハビリテーションの定義を説明できる。 12. ノーマライゼーションの定義を説明できる。 13. バリアフリーを説明できる。	資料を配布し解説する。	阿部 智	A-1~4  必1, 必2
2	4/5		1. 診療記録を説明できる。 2. 診療情報を説明できる。 3. 診断書を説明できる。 4. 医療の質の確保を説明できる。 5. 医療事故の防止を説明できる。 6. 院内感染対策を説明できる。	//	阿部 智	C-2-1)-①② C-4-3)  必3, 必11-A,B,C
3	4/14		1. 医療行為を説明できる。 2. 医療施設を説明できる。 3. 歯科医療施設を説明できる。 4. チームワーク診療を説明できる。 5. 診療記録と保存を説明できる。 6. 地域保健・医療と歯科医療機関について説明できる。	//	阿部 智	B-2-3) C-2-2)-②  総-(VII)-2-A,B,C,D,H 総II-(VII)-2-E
4	4/14		1. 医療事故と医療過誤を説明できる。 2. 医療裁判を列記できる。 3. 医事紛争を説明できる。 4. 医療危機管理を説明できる。	//	林田丞太	A-5-1),2)  必11-D,E 総II-(VII)-1
5	4/18		1. 保健活動のすすめ方を説明できる。 2. 母子保健を説明できる。 3. 学校保健を説明できる。 4. 産業保健を説明できる。 5. 成人・老人保健を説明できる。 6. 歯科医師と法を説明できる。 7. 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法、他の関連法規を説明できる。	//	山本龍生	C-3-2)-④  必2-B 総II-(VII)-4 総II-(VII)-5-A,B
6	4/18		1. 地域保健を説明できる。 2. 母子保健を説明できる。 3. 老人保健を概説できる。 4. 障害者保健を説明できる。 5. 学校保健を説明できる。 6. 産業保健を説明できる。 7. 感染症対策を説明できる。 8. 精神保健対策を説明できる。 9. 食品保健と食生活を説明できる。 10. 医薬品等の安全対策を説明できる。 11. 環境保健を説明できる。 12. 医療保険を説明できる。 13. 介護保険を説明できる。 14. 社会福祉	//	山本龍生	C-3-2)-④   総II-(VII)-5-C~P
7	6/29		基本的な医療英語	//	阿部 智	  必1-C
8	6/29		1. わが国の保健・医療制度の特徴を説明できる。 2. 我が国の福祉制度の特徴を説明できる。 3. 保健・医療・福祉の組織と業務を説明できる。 4. 保健所と市町村保健センターを説明できる。 5. 歯科保健医療の情報を説明できる。	//	山本龍生	C-2-2-①②  総II-(VII)-2-F,G 総II-(VII)-3
9	7/29		医学史、歯学史	//	阿部 智	  必1-A
10	7/29		医学・医療に関する人文、社会科学、事前科学、芸術などに関連する一般教養的知識	//	阿部 智	  必1-B
11	8/26		1. 社会保障を説明できる。 2. 医療経済を説明できる。 3. 世界の保健問題を説明できる。 4. 国際保健協力を説明できる。	//	山本龍生	C-2-2)  総II-(VII)-6 総II-(VII)-7

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科保存学 (修復)	歯科医療の実践のために歯科保存学 (修復) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/13	歯科保存学 (修復)	1. 診査、診断法を的確に説明できる。 2. エナメル質と象牙質の構造の違いを説明できる。 3. 齲蝕の成因、進行、特徴、病理像を説明できる。 4. くさび状欠損、咬耗、磨耗、破折、着色・変色、形成異常、酸蝕症、象牙質知覚過敏症の成因、特徴、好発部位、修復法について説明できる。	資料を配布しスライドにて解説する。	花岡孝治	F-1-1)-①-⑱ F-3-1)-①-③ F-3-3)-(1)-①② F-3-2)-① F-3-3)-(4)-①②  総Ⅱ-(Ⅰ)-4-A～D 各Ⅱ-(Ⅰ)-1～6 各Ⅱ-(Ⅲ)-1～5 各Ⅱ-(Ⅳ)-1
2	5/13		1. 罹患歯質の除去法について説明できる。 2. 手用および回転切削器具の種類と用途について説明できる。 3. エアアブレイシブ、レーザーによる歯質形成、薬剤による齲蝕除去について説明できる。 4. 歯髄刺激、保護対策を述べることができる。 5. 裏層、仮封、覆髄、IPC について説明できる。 6. 修復物の外面、内面形状、表面性状について説明できる。	//	花岡孝治	F-3-4)-(1)-②⑤⑦⑧⑬ ⑮ E-2-⑤  総Ⅱ-(Ⅴ)-3 各Ⅱ-(Ⅰ)-9,10 各Ⅱ-(Ⅰ)-11,12 各Ⅱ-(Ⅰ)-5 各Ⅱ-(Ⅳ)-8-E
3	5/20		1. コンポジットレジン修復の適応症、禁忌症や特徴を列挙できる。 2. コンポジットレジンの構成、重合方式、物性について説明できる。 3. 重合収縮、重合収縮対策について説明できる。 4. エナメル質接着、ホワイトマーキングの発生について説明できる。	//	花岡孝治	E-1-①～④ E-2-④ F-3-4)-(1)-①②  各Ⅱ-(Ⅰ)-16-A～C 各Ⅱ-(Ⅵ)-7-B
4	5/20		1. 象牙質接着について説明できる。 2. セルフエッチングプライマーを主とした接着システムの構成について説明できる。 3. 窩洞形成、臨床術式について説明できる。 4. 予後不良とその対策を説明できる。 5. 補修修復について説明できる。 6. 除痛法、隔壁法、歯間分離法、歯肉排除法、防湿法について目的、種類、方法を説明できる。	//	花岡孝治	F-3-4)-(1)-④ F-1-3)-(3)-⑤  総Ⅱ-(Ⅴ)-6-A～C 各Ⅱ-(Ⅰ)-16-D～H 各Ⅱ-(Ⅰ)-13-A～E
5	5/27		1. コンポジットレジンインレー、セラミックインレー修復について、適応症、窩洞形態の特徴、製法について説明できる。 2. レジンコーティング法、デュアルキュアレジンセメント使用等、臨床術式が説明できる。 3. セラミックの組成、特徴、各種製法法 (焼成、 casting、CAD/CAM、加圧) が説明できる。 4. G.V.Black の窩洞の分類を定義できる。 5. 窩洞の名称、具備すべき条件 (窩洞外形、保持形態、抵抗形態、便宜形態、窩縁形態) が説明できる。	//	花岡孝治	F-3-4)-(1)-②③⑤⑩⑦ ⑧⑬⑮ E-1-①～③ E-2-④ F-3-1)-② F-3-4)-(1)-④⑤⑦⑧  各Ⅱ-(Ⅰ)-17 各Ⅱ-(Ⅰ)-20 必6-C-a 各Ⅱ-(Ⅰ)-8-A～F
6	5/29		1. グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント修復の組成、硬化機構について説明できる。 2. 適応症や特徴 (フッ素徐放性、接着性、感水)、修復法について説明できる。 3. 合着用セメントの所要性質について説明できる。 4. 無機セメント (リン酸亜鉛セメント、カルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント、酸化亜鉛ユージノールセメント) の組成、特徴、法を説明できる。 5. グラスアイオノマー系レジンセメントの特徴、歯質、修復物への接着機構が説明できる。 6. レジンセメントの特徴、用法が説明できる。	//	花岡孝治	C-3-2)-② E-1-①～③ F-3-3)-(4)-① F-3-4)-(1)-②⑬ E-1-④  各Ⅱ-(Ⅰ)-18 各Ⅵ-7-C 必15-D-a,b 各Ⅱ-(Ⅰ)-20 各Ⅱ-(Ⅰ)-21 各Ⅵ-8-A,B
7	6/3		1. 鑄造修復法の特徴、適応症を説明できる。 2. 窩洞の特徴について説明できる。 3. 各種印象材の成分、特徴、使用方法について説明できる。 4. 模型材 (石膏) の所要性質を説明できる。 5. 埋没材の所要性質や埋没法の種類について説明できる。	//	花岡孝治	F-3-4)-(1)-②③⑬ E-2-①②③  総Ⅱ-(Ⅴ)-4,5 各Ⅱ-(Ⅰ)-19-A～E 必15-B-a,b 各Ⅱ-(Ⅰ)-19-F～H
8	6/3		1. インレーワックスの所要性質、鑄造採得法が説明できる。 2. 埋没の前準備、埋没材の種類、所要性質、埋没法について説明できる。 3. 鑄造用合金の性質や鑄造時の寸法変化、鑄造欠陥について説明できる。 4. 鑄造体の試適から合着、予後まで鑄造修復法の一連の流れ説明できる。	//	花岡孝治	F-3-4)-(1)-③⑨⑩ E-2-③④  各Ⅱ-(Ⅰ)-19-G～L 各Ⅱ-(Ⅰ)-19-M～O 必15-A-a,b

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
9	7/4	歯科保存学(修復)	必須問題ガイドラインにそって、保存修復学分野の基本的事項(歯の形態、歯式、歯の構造と組成、う蝕軟化歯質の再石灰化、加齢による変化、齲蝕、硬組織疾患、診査基本手技、齲蝕と継発症の治療、治療の適応と選択、歯の切削、歯髄保存療法、印象採得、接着技法、修復材料、合着材、フッ化物応用)を説明できる。	資料を配布しスライドにて解説する。	花岡孝治	F-3-1)-①~③ F-3-2)-①② F-3-3)-(1)-①② F-3-4)-(1)  必-4-C-abcg 必-6-C-a 必-8-B-b,c 必-9-G-a~e 必-10-D-a 必-13-B-a 必-14-A~G,J,N,O,P,S,V,W 必-15-A~D,F,G 必-16-H
10	7/4		臨床問題対策Ⅰ:各論を基礎に、患者の主訴、病変部の所見や的確な診査により適切な診断を下し、治療方針、治療法(歯髄処置、修復材料の選択)を決定できる。	//	花岡孝治	F-1-1)-①~⑱  各Ⅱ-(Ⅰ)-3,6
11	7/14		臨床問題対策Ⅱ:歯質削除中心の従来の歯科治療から、侵襲を可能な限り避け、歯質保護を基本に治療を行うMIの概念に適応したコンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復の臨床術式を正確に説明できる。	資料を配布し筆記試験後、スライドにて解説する。	花岡孝治	F-3-4)-(1) E-1-①~③  各Ⅱ-(Ⅰ)-16 各Ⅱ-(Ⅰ)-18 各Ⅵ-7-B,C
12	7/14		臨床問題対策Ⅲ: 1.症例に合わせた適切な材料選択や補助法の応用が決定できる。 2.予後不良症例に対する不良術式の推論ができる。	//	花岡孝治	F-3-4)-⑩,⑭  各Ⅱ-(Ⅰ)-13
13	8/24		臨床問題対策Ⅳ:保存学会で纏められたエビデンスとコンセンサスに基づく齲蝕治療のガイドラインに従い、1.初期齲蝕に対する診査、診断、2.中等度の齲蝕における齲蝕の除去範囲、3.深在性齲蝕の歯髄保護、4.AIPC、5.臼歯コンポジットレジンの有用性、6.補修復、7.根面齲蝕への対応が行える。	//	花岡孝治	F-3-3)-(1) F-3-4)-(1)  必10-H-b,c 総XI-1-A~H 各Ⅰ-1-A~G
14	8/24		統合講義:修復材料の所要性質について、理工学的(機械的性質、物理的性質、化学的性質)、生物学的な面から説明できる。	資料を配布しスライドにて解説する。	花岡孝治	E-1-①~④  必15-C-a,b 各Ⅱ-(Ⅰ)-14
15	9/9		1.歯質変色の原因、漂白の適応症や術式について説明できる。 2.漂白のメカニズムについて説明できる。 3.コンポジットレジン、セラミックによるラミネート修復の適応症や術式について説明できる。	//	花岡孝治	F-3-4)-(1)-②  各Ⅱ-(Ⅴ)-18 各Ⅱ-(Ⅰ)-22
16	9/9		卒前講義:さらに詳細な解説が必要と考えられる事項や重要とされる事項に関して、習得する。	//	花岡孝治	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科保存学 (歯内)	5年時までに、講義による基礎知識や実習による基本的な治療技術・態度を修得してきた。さらに5年時の臨床実習においては、歯科医療の現場で実際に患者を診ることで実践的な学習を行ってきた。今までの知識・経験を踏まえて、歯科学の基礎および臨床の知識を総合的に集約し、学士試験、国家試験に対応できる能力を修得することを目的とする。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/12	歯科保存学 (歯内)	齶蝕、歯髄炎および根尖性歯周炎の病態における組織、解剖、病理、細菌、免疫学的背景との相関性を理解し説明できる。	講義資料を配布し、PC パワーポイントで要点を説明する。また、数問の問題について解答・解説を行う。	鈴木二郎	F-3-1),2) F-4-3) 必6-C-e 必7-C-b 総IV -4-E
2	5/12		歯髄疾患の病態と特徴を理解し説明できる。	//	鈴木二郎	F-3-2) F-3-3),4) 必9-b-c 必9-14-B-a 総VIII -2-A 各III -( II )-1-c 各III -( II )-2-A,B
3	5/23		根尖性歯周疾患の発症と進展における免疫応答を理解し、その病態と特徴を説明できる。	//	鈴木二郎	F-3-2) F3-3)-(4) 各III -( II )-1-D 各III -( II )-2-C,D
4	5/23		適切な口腔内診断法が選択でき、的確な診断ができる。	//	鈴木二郎	F-3-3)-(2) 必10-H-b,c 総IX -1-B
5	5/30		1. 歯髄保存療法および歯髄除去療法が説明できる。 2. 根管形成が説明できる。	//	鈴木二郎	F-3-3)-(2) F-3-4)-(1) 必15-P-a 各III -( I )-4-A,E 各III -( II )-4-A,B
6	5/30		感染根管治療が説明できる。	//	鈴木二郎	F-3-3)-(2) 必15-Q-a 各III -( II )-4-c 各IV -( II )-4-A
7	7/1		1. 歯内療法における無菌処置の重要性を理解し説明できる。 2. 根管消毒薬が説明できる。 3. 器具の消毒・滅菌について説明できる。	//	鈴木二郎	F-3-3)-(2) 必 -15-H-a
8	7/1		1. 漂白法が説明できる。 2. 外傷歯が説明できる。	//	鈴木二郎	F-3-3)-(2) 各 I -5-B,C 各III -( I )-2-H,I 各III -( I )-3-C 各III -( II )-2-E,F
9	8/23		1. 偶発事故が説明できる。 2. 外科的歯内療法が説明できる。 3. 顕微鏡を用いた歯内療法が説明できる。	//	鈴木二郎	F-2-4)-(1) 各III -( III )-D,E,F
10	9/9		1. 高齢者の歯髄疾患および根尖性歯周疾患について説明できる。 2. 全身疾患を有する者の歯内療法について説明できる。	//	鈴木二郎	F-4-3) 各III -( II )-2-G 各III -( II )-3-A,B 各III -( III )-4-G

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科保存学 (歯周)	歯周組織の構造と機能を理解し、歯周疾患の原因と病態とを理解する。さらに歯周治療としての診査・検査法、診断法や予防法、そして治療法を理解するとともに、他の臨床系治療学との関連性について認識する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/13	歯科保存学 (歯周)	1. 歯周組織の構造と機能を説明できる。 2. 歯周疾患の原因を説明できる。 3. 歯周疾患の病態、分類、診断法が説明できる。	資料を配布し、パワーポイントを中心に解説する。小試験を行う。	菅谷 彰	F-3-1)-⑤ F-3-2)-①,④,⑤ F-3-3)-(3)-①,②  (総)(Ⅱ)-10-K, (Ⅳ)-4-F,G,H,I, (Ⅵ)-11-B, (Ⅶ)-2-B, (Ⅸ)-1-C (各)(Ⅰ)-2-A~F
2	5/13		1. 歯周疾患の治療計画が説明できる。 2. 歯周基本治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-② F-3-3)-(3)-③  (各)(Ⅲ)-4-A~F
3	5/19		歯周外科治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-B,C
4	5/19		根分岐部病変の治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-②,③,④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-D
5	5/31		1. メインテナンス治療に関し説明できる。 2. 歯内一歯周疾患の成立機序と治療法を説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-② F-3-2)-③,④  (各)(Ⅱ)-2-D,(Ⅲ)-4-G
6	5/31		まとめ (全般、特に必修項目)	//	菅谷 彰	F-3-1)-⑤ F-3-2)-①,④,⑤ F-3-3)-(3)-①,②  必3-I-b,c,6-C-d, 7-C-c,9-B-d, 9-C-h,i,j, 10-H-a,d,e,f,g, 11-D-b,14-B-b, 15-A-a,15-B-a,b, 15-R-a
7	6/8		1. 歯周疾患の病態、分類、診断法が説明できる。 2. 歯周疾患の原因を説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-2)-①,④,⑤ F-3-3)-(3)-①,②  (各)(Ⅱ)-1~5 (各)(Ⅲ)-2-A~H
8	6/8		3. 歯周疾患の治療計画が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-2)-①,④,⑤ F-3-3)-(3)-①,②  (各)(Ⅱ)-1~5 (各)(Ⅲ)-2-A~H
9	6/21		ブラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニングを中心とした歯周基本治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-③  (各)(Ⅲ)-4-A
10	6/21		咬合治療を中心とした歯周基本治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-③  (各)(Ⅲ)-2-F(Ⅲ)-4-A

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
11	6/27	歯科保存学 (歯周)	1. 歯周ポケットに対するアプローチを中心とした歯周外科治療が説明できる。	資料を配布し、パワーポイントを中心に解説する。小試験を行う。	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-B,C
12	6/27		2. 歯周ポケットに対するアプローチを中心とした歯周外科治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-B,C
13	7/4		1. MGSを中心とした歯周外科治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-B
14	7/4		2. MGSを中心とした歯周外科治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-B
15	7/13		1. 根分岐部病変の治療が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-③,④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-D
16	7/13		1. 根分岐部病変の治療が説明できる。 2. 歯内一歯周疾患の成立機序と治療法を説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-③,④,⑤  (各)(Ⅲ)-4-D
17	8/24		1. 特殊な歯周疾患の治療が説明できる。 2. 全身疾患を有するものへの対応	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-①,②,③,④,⑤  (総)(Ⅷ)-6-A (各)(Ⅱ)-1-U~X, (Ⅲ)-1-A,B, (Ⅲ)-2-H, (Ⅲ)-3-B,(Ⅲ)-4-H
18	8/24		薬物療法が説明できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-③  (総)(Ⅹ)-9-F,G,I (各)(Ⅲ)-4-F
19	9/14		1. 歯周組織再生療法を説明できる。 2. 歯周病学について解説できる。	//	菅谷 彰	F-3-3)-(3)-④,⑤  (総)(Ⅺ)-16-B,E (各)(Ⅱ)-4-C
20	9/14		まとめ	//	菅谷 彰	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科補綴学 (全部床)	歯科医療の実践のために歯科補綴学 (全部床義歯) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/17	歯科補綴学 (全部床)	無歯顎の特徴と無歯顎補綴治療の目的、特徴を説明できる。	資料を配布し、パワーポイントにより解説する。	井野 智	F-4-3)-①
						必6-C,D
2	5/17		全部床義歯の設計について説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-①⑫
			無歯顎補綴治療の前処置が述べる事ができる。	//		各Ⅲ-(Ⅱ)-7-G
						F-3-4)-(3)-①
						各Ⅲ-(Ⅱ)-7-A
3	5/25		印象目的と印象用材料を述べる事ができる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑩
			概形印象と研究模型、精密印象と作業模型の製作方法が述べる事ができる。	//		各Ⅲ-(Ⅱ)-7-B
						F-3-4)-(3)-⑩
						各Ⅲ-(Ⅱ)-7-B,C
4	5/25	垂直的顎間関係の決定法を列挙できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑧	
		水平的顎間関係の決定法を列挙できる。	//		各Ⅲ-(Ⅱ)-7-D	
					F-3-4)-(3)-⑧	
					各Ⅲ-(Ⅱ)-7-D	
5	6/1		下顎運動記録法の概要を説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑨
						総Ⅰ-(Ⅲ)-2-C
6	6/1	審美性や機能を考慮した前歯の排列について説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑥	
		臼歯部人工歯ならびに咬合様式を選択し、排列方法を説明できる。	//		各Ⅲ-(Ⅱ)-7-J	
					F-3-4)-(3)-⑥	
					各Ⅲ-(Ⅱ)-7-J	
7	6/8	歯肉形成の意義を説明し、試適時の検査項目を列挙できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑤	
		種々の床用レジンの埋没と重合方法について述べる事ができる。	//		各Ⅲ-(Ⅱ)-7-L~M	
					F-3-4)-(3)-⑩	
					各Ⅲ-(Ⅱ)-7-N	
8	6/8	研磨の目的と手順を説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑪	
		重合義歯の咬合器再装着方法と人工歯の削合を説明できる。	//		各Ⅲ-(Ⅱ)-7-O	
					F-3-4)-(3)-⑪	
					総Ⅰ-(Ⅲ)-6-A~C	
9	7/6	装着時の調整、患者指導方法を説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑪	
		義歯装着後の定期検診の必要性について述べる事ができる。	//		各Ⅲ-(Ⅱ)-7-P	
		リライン、リベース方法と義歯修理方法を述べる事ができる。	//		F-3-4)-(3)-⑭	
					各Ⅲ-(Ⅱ)-7-P	
					F-3-4)-(3)-⑬	
					各Ⅲ-(Ⅱ)-7-Q	

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
10	7/6	歯科補綴学 (全部床)	金属床義歯、即時全部床義歯、オーバーデンチャー、顎顔面補綴、インプラント義歯の特徴、治療手順を説明できる。	資料を配布し、パワーポイントにより解説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① F-3-4)-(4) 各Ⅲ -(Ⅱ)-5-F,6-C,D
11	7/14		補講 咬合器の調節ならびにゴシックアーチ描記法について説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)-⑧,⑨
12	7/14		まとめ。総論、各論、臨床実地問題の実施。	筆記試験を行い、問題を解説する。	井野 智	
13	8/3		まとめ。総論、各論、臨床実地問題の実施。	//	井野 智	
14	8/3		まとめ。総論、各論、臨床実地問題の実施。	//	井野 智	
15	9/12		まとめ。総論、各論、臨床実地問題の実施。	//	井野 智	
16	9/12		まとめ。総論、各論、臨床実地問題の実施。	//	井野 智	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科補綴学 (部分床)	歯科医療の実践のために歯科補綴学 (部義歯) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/16	歯科補綴学 (部分床)	歯の欠損とそれに伴う病態を予測し治療法が列挙できる。	資料を配布し、写真を提示しながら解説する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑫ 各Ⅲ -(Ⅱ )-2-A,B
2	5/16		部分床義歯の構成要素について理解し説明できる。①	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑦ Ⅲ -(Ⅱ )-5-A ~ E
3	5/24		部分床義歯の構成要素について理解し説明できる。②	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑦ Ⅲ -(Ⅱ )-5-A ~ E
4	6/6		部分床義歯の分類を列挙できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ④ Ⅲ -(Ⅱ )-1~4
5	6/6		支台装置各部の名称と機能を説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑤ Ⅲ -(Ⅱ )-5-A ~ E
6	6/10		クラスプを分類、比較できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑦ Ⅲ -(Ⅱ )-5-A ~ E
7	6/10		部分床義歯の臨床治療法について理解し説明できる。①	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑦ Ⅲ -(Ⅱ )-5-A ~ E
8	6/14		部分床義歯の臨床治療法について理解し説明できる。②	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑪ Ⅲ -(Ⅱ )-7-N ~ P
9	6/14		補綴装置を評価し、術後管理に必要な事項を述べることができる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑭ Ⅲ -(Ⅱ )-7-Q
10	7/6		その他の義歯について理解し説明できる。	//	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑪ Ⅲ -(Ⅱ )-6-A ~ D
11	7/6		まとめ	//	井野 智	
12	8/4		まとめ	//	井野 智	
13	8/4		まとめ	//	井野 智	
14	9/15		まとめ	//	井野 智	
15	9/15		まとめ	//	井野 智	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科補綴学 (歯架工)	歯科医療の実践のために歯科補綴学 (歯架工) の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。 歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する修復の臨床的意義と方法を理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/16	歯科補綴学 (歯架工)	歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を理解し解説できる。	資料を配布し解説する。	星 憲幸	F-3-4)-(1) ① 必 -15-S 各 - V -2-A,C,4-A
2	5/16		歯質欠損に対するクラウンの種類、材料、適応について理解し、解説できる。	//	星 憲幸	F-3-4)-(1) ② 必 -15-S 総XI -8 各 - V -3,4-A
3	5/24		歯列の一部欠損に対する橋義歯の種類、構成、設計について理解し解説できる。	//	星 憲幸	F-3-4)-(2) ①②③⑩⑪ 必 -15-S 各 - V -4-B
4	5/24		修復に必要な前処置、支台築造、支台歯形成を理解し解説できる。	//	星 憲幸	F-3-4)-(1) ④⑤⑥⑦⑫ F-3-4)-(2) ④ 必 -15-N 総 - XI -3-A,8-I,K 各 - V -4-C,D
5	6/2		印象採得、咬合採得、プロビジョナルレストレーション、作業模型の製作方法を理解し解説できる。	//	星 憲幸	E-2- ①②④ F-3-4)-(1) ⑧⑨ F-3-4)-(2) ⑤⑥⑦ 必 -15-U,V,AC-a 総 - XI -4-E,F,G,H,K,5-A 各 - V -4-E,F,G,H
6	6/2		咬合器付着、咬合器の調節を理解し解説できる。	//	星 憲幸	F-3-4)-(1) ⑩ F-3-4)-(2) ⑨ 必 -15-W 各 - V -4-I
7	6/13		ワックスアップ、埋没、鋳造、研磨を理解し解説できる。	//	星 憲幸	E-1- ① E-2- ③④⑤ F-3-4)-(1) ③ F-3-4)-(2) ⑫ 必 -15-X 総 - XI -6-A,B,C,8-L,12 各 - V -4-J,K,L
8	6/13		各種前装鋳造冠を理解し解説できる。	//	星 憲幸	F-3-4)-(1) ② 総 - XI -8-A,G,H 各 - V -3,4-A
9	6/15		各種ジャケット間を理解し解説できる。	//	星 憲幸	F-3-4)-(1) ② 総 - XI -8-A,B,D,E,F,11 各 - V -3,4-A
10	7/5		接着性ブリッジとインプラント補綴を理解し解説できる。	//	星 憲幸	F-3-4)-(2) ② F-3-4)-(4)- ① 総 - XI -16-A,B 各 - V -3,4-A,B,C,7
11	7/5		冠、橋義歯の試適、装着の目的と方法を理解し解説できる。	//	星 憲幸	E-1- ④ F-3-4)-(1)- ⑬ F-3-4)-(2)- ⑫ 必 -15-Y,AC-d 総 - XI -13,14 各 - V -4-M,N

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
12	7/12	歯科補綴学 (歯架工)	冠、橋義歯の装着後における定期健診の重要性を理解解説できる。	資料を配布し解説する。	星 憲幸	F-3-4)-(1) ⑪ F-3-4)-(2) ⑧⑬
13	7/12		まとめ	筆記試験を行う。	星 憲幸	必-15-AB-a 各-V-9
14	7/21		まとめ	〃	星 憲幸	
15	8/4		まとめ	〃	星 憲幸	
16	8/4		まとめ	〃	星 憲幸	
17	8/23		まとめ	〃	星 憲幸	
18	9/5		まとめ	〃	星 憲幸	
19	9/6		まとめ	〃	星 憲幸	
20	9/6		まとめ	〃	星 憲幸	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔外科学	1. 口腔顎顔面領域に発生する疾患の病態、診断法、治療法、予後を理解する。 2. 口腔外科診療を実践するために必要となる基礎医学や隣接医学を理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/10	口腔外科学	歯原性腫瘍を説明できる。	資料を配布し解説する。適宜、国試過去問を提示し解説する。	本間義郎	F-2-4)-(3)- ⑤⑧ 各論 - IV -( II )-5-A ~ D
2	5/10		1. 非歯原性腫瘍を説明できる。 2. 腫瘍類似疾患を説明できる。	//	本間義郎	F-2-4)-(3)- ⑥⑫⑬ 各論 - IV -( II )-5-C,D
3	5/18		1. 歯・口腔・顎・顔面の症候のとらえ方を説明できる。 2. 全身疾患による主な口腔症状を説明できる。	//	本間義郎	F-1-1)- ①②④⑨ 必修 -9-B-a,f ~ K, 必修 -9-C-a,e,f
4	5/18		顎骨に発生する嚢胞の診断、治療法を説明できる。	//	本間義郎	F-2-4)-(3)- ①⑫ 各IV -( I )-4E ~ I,J
5	5/25		軟組織に発生する嚢胞の診断、治療法を説明できる。	//	本間義郎	F-2-4)-(3)- ①⑫ 各IV -( I )-4
6	5/25		口腔の前癌病変、前癌状態を説明できる。	//	本間義郎	F-2-4)-(3)- ⑨⑩ 各論 - IV -( I )-N
7	5/26		1. 口腔癌の疫学、特徴、症状、リスクファクターを概説できる。 2. 口腔顎顔面領域悪性腫瘍の診断法を説明できる。	//	本間義郎	F-2-4)-(3)- ⑪ 各論 - IV -( I )-5
8	5/26		1. 口腔顎顔面領域悪性腫瘍の治療法を説明できる。 2. 口腔癌の予後、緩和ケアを説明できる。	//	本間義郎	F-2-4)-(3)- ⑦⑪ 各論 - IV -( I )-5-P
9	5/31		1. 皮膚と粘膜の基本的構造と機能を説明できる。 2. 口腔粘膜に色素異常を起こす疾患を説明できる。	//	本間義郎	D-2-3)-(1)- ① F-2-4)-(2)- ①⑨ 総III -1-F 各IV -(1)-6-1-U ~ Z
10	5/31		AIDS/HIV 感染症の病態、疫学、検査法、口腔症状を説明できる。	//	本間義郎	F-2-4)-(7)- ⑩ 各IV -( IV )-2-C-b
11	6/7		顎顔面口腔領域の神経疾患の要因、病態について説明できる。	//	土肥雅彦	D-2-3)-(5)- ①② F-2-1)- ④ F-2-4)-(6) 必修6B-f, 各論 -IV-( III )2
12	6/7		顎関節の発育異常、損傷、炎症性疾患、腫瘍、その他の顎関節疾患の要因、病態について説明できる。	//	土肥雅彦	F-2-1)- ⑤ F-2-4)-(4) 必修6B-h, 各論 - IV ( III )3
13	6/9		歯の損傷、骨折、軟組織の損傷、損傷による合併症の要因、病態について説明できる。	//	土肥雅彦	F-2-1)- ①② F-2-4)-(1) 必修6A-f, 各論IV ( I )2,( II )2
14	6/9		口腔外科の手術基本手技を理解し、説明できる。	//	土肥雅彦	F-1-4) ①~⑩ 総論 -X-5A ~ I
15	6/14		顎顔面口腔領域の神経疾患、損傷、および顎関節疾患について診断の進め方について説明できる。	//	土肥雅彦	F-2-4)-(1),(4),(6) 各論IV( I )2,( II )2, ( III )2,3

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	6/14	口腔外科学	顎顔面口腔領域の神経疾患の診断の進め方、治療方法について説明できる。	資料を配布し解説する。適宜、国試過去問を提示し解説する。	土肥雅彦	F-2-4)-(6) 各論 - IV ( III )2
17	6/16		歯の損傷、骨折、軟組織の損傷、損傷による合併症の診断の進め方、治療法について説明できる。	//	土肥雅彦	F-2-4)-(1) 各論 - IV ( I )2,( II )2
18	6/16		ビスホスフォネート製剤による顎骨壊死の予防、治療法について説明できる。	//	土肥雅彦	D-5-4), F-2-4)-(2) 各論 - IV (- II )-3H
19	6/30		診療記録、診療情報についての正しい記載および管理について説明できる。	//	土肥雅彦	C2-1,2,F1-1) ⑦~⑩, ⑭,⑯,⑰ 必修 -5A,B,C,
20	6/30		顎関節の発育異常、損傷、炎症性疾患、腫瘍、その他の顎関節疾患の診断の進め方、治療法について説明できる。	//	土肥雅彦	F-2-4)-(4) 各論 IV( III )3
21	7/5		顎顔面口腔領域の神経疾患、損傷、および顎関節疾患の診断の進め方、治療法について説明できる。	//	土肥雅彦	F-2-4)-(1),(4),(6) 各論 - IV ( I )2,( II ), ( III )2,3
22	7/5	検査の概要を理解し、基礎的知識を修得、必要性を説明できる。	//	河原健司	F-1-1)- ①④ 総論 -( IV )-1-3,13~19	
23	7/8	先天異常・発育異常を理解し、基礎的知識を修得、説明できる。	//	河原健司	F-2-3)- ③④ 各論 - I -( II )-1,3,4	
24	7/8	変形を主徴とする疾患を理解し、基礎的知識を修得、説明できる。	//	河原健司	F-2-3)- ④ 各論 - IV -( I )-1-5	
25	7/12	炎症性疾患を理解し、基礎的知識を修得、説明できる。	//	河原健司	D-4-4)- ①~④ 各論IV -( III )-1-5	
26	7/12	炎症性疾患を理解し、基礎的知識を修得、疾患の病態や治療法を説明できる。	//	河原健司	F-2-4)-(2)- ①~⑤ 各論 - IV -( III )-7	
27	8/3	検査の概要を理解し、基礎的知識を修得、各種疾患や病態での検査の必要性を説明できる。	//	河原健司	F-1-1)- ①④⑩⑪⑮ 総論 -( IV )-1-3,13~19	
28	8/3	先天異常・発育異常を理解し、基礎的知識を修得、各種疾患の病態や治療法を説明できる。	//	河原健司	F-2-4)-(7)- ⑤⑪ 各論 - I -( II )-1,3,4	
29	8/22	変形を主徴とする疾患を理解し、基礎的知識を修得、各種疾患の病態や治療法を説明できる。	//	河原健司	F-2-4)-(7)- ⑫ 各論 - IV -( I )-1-5	
30	8/22	炎症性疾患を理解し、基礎的知識を修得、特異性炎などについて病態を説明できる。	//	河原健司	F-2-4)-(2)- ⑥~⑪ 各論 - IV -( III )-1-5	
31	8/23	唾液腺疾患・口腔粘膜疾患・赤血球系・白血球系疾患・出血性素因の基礎的・臨床的知識を総合的に理解し、説明できる。	//	河原健司	F-2-4)-(2)- ①⑨ F-2-4)-(5)- ①~⑤ D-2-3)-(11)- ③④ 各論 - IV -( III )-1 各論 - IV -( I )-6 各論 - IV -( IV )-2,F,G	

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
32	8/23	口腔外科学	顎骨に発生する嚢胞の診断、治療法を説明できる。	資料を配布し解説する。適宜、国試過去問を提示し解説する。	河原健司	F-2-4)-(3)- ①⑫ 各IV -( I )-4E ~ I,J
33	8/29		炎症性疾患を理解し、基礎的知識を修得、菌性全身感染症を含む、顎顔面領域の炎症性疾患の病態や治療法を説明できる。	//	河原健司	F-2-4)-(7)- ② 各論IV -( III )-1-7
34	8/29		唾液腺疾患の基礎的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-2-4)-(5)- ①~⑤ 各論 - IV -( III )-1
35	9/6		口腔粘膜疾患の基礎的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-2-4)-(2)- ①⑨ 各論 - IV -( I )-6
36	9/6		赤血球系・白血球系疾患の基礎的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	D-2-3)-(11)- ③ 各論 - IV -( IV )-2-F (-a,b),G
37	9/8		出血性素因の基礎的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	D-2-3)-(11)- ④ 各論 - IV -( IV )-2-F (-c),G
38	9/8		治療の基本と基本手技を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-1-4)- ①~⑩ 必修-15-H,K,L,M,
39	9/13		唾液腺疾患の臨床的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-2-4)-(5)- ①~⑤ 各論 - IV -( III )-1
40	9/13		口腔粘膜疾患の臨床的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-2-4)-(2)- ①⑨ 各論 - IV -( I )-6
41	9/16		赤血球系・白血球系疾患の臨床的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-2-4)-(7)- ① 各論 - IV -( IV )-2-F (-a,b),G
42	9/16		出血性素因の臨床的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-2-4)-(7)- ① 各論 - IV -( IV )-2-F (-c),G
43	9/20		インプラント治療の偶発症と合併症を説明できる。顎顔面補綴の臨床的知識を修得し、説明できる。	//	鈴木健司	F-1-4)- ② F-2-4)- ⑦ 各論 - IV -( II )-5
44	9/22		唾液腺疾患・口腔粘膜疾患の基礎的・臨床的知識を総合的に理解し、説明できる。	//	鈴木健司	F-2-4)-(2)- ①⑨ F-2-4)-(5)- ①~⑤ 各論 - IV -( III )-1 各論 - IV -( I )-6
45	9/22	赤血球系・白血球系疾患・出血性素因の基礎的・臨床的知識を総合的に理解し、説明できる。	//	鈴木健司	D-2-3)-(11)- ③④ F-2-4)-(7)- ① 各論 - IV -( IV )-2-F,G	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科矯正学	歯科医療の実践のために歯科矯正学の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/11	歯科矯正学	1. 矯正治療の目的と意義を説明できる。 2. 矯正治療の種類について説明できる。 3. 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 4. 不正咬合の疫学的要因を説明できる。 5. 脳頭蓋および顔面頭蓋の発育と異常について理解し説明できる。 6. 上顎骨、下顎骨の発育異常について理解し説明できる。	配布資料とスライドにて解説する。	窪田光慶	F-4-1)- ① F-4-1)- ③ F-2-3)- ④
2	5/11					必7-B-b 総 ( II )10-L 総 ( V )3-AH 総 ( V )4-ABC 各 II ( II )1-E
3	5/24		1. 正常咬合の分類、正常咬合の種類・成立保持のための条件について説明できる。 2. 歯列形態の異常について説明できる。 3. 個々の歯の異常について説明できる。 4. 歯列弓形態の異常について説明できる。 5. 上下歯列弓の異常の種類について説明できる	//	窪田光慶	F-4-1)- ②④
4	5/24					III -( III )2A ~ C III -( III )6B III -( III )6C1
5	6/16		1. Angle の分類について説明できる。 2. 不正咬合の遺伝的原因について説明できる。 3. 不正咬合の環境的原因について説明できる。 4. 先天疾患について列記し、説明できる。	//	窪田光慶	F-4-1)- ④ F-2-3)- ④
6	6/16					各 I -3-AB 各 II ( II )1-CD 各 II ( I )3-ABCN 各 II ( I )5-AE 各 II ( I )1-ABC, E ~ N,XY 各 IV ( I )1-G
7	6/21	1. 口腔模型の種類と診査項目について説明できる。 2. ディスクレパンシーの概念と計算法について説明できる。 3. 画像検査の種類と特徴について説明できる。	//	窪田光慶	F-4-1)- ④	
8	6/21	1. セファロの目的・撮影方法・分析方法について説明できる。 2. セファロの基準点・基準平面・分析方法について説明できる。	// (定規持参のこと)		F-4-1)- ④	
9	6/29	1. 正面セファロについて説明できる。 2. 重ね合わせ法について説明できる。 3. 機能分析法 (Thompson 法) について説明できる。 4. 咬合の用語について説明できる。 5. 下顎運動について説明できる。 6. その他の機能分析法について説明できる。	//	窪田光慶	F-4-1)- ④	
10	6/29				必10-Fe 必14-Bd 総 ( IV )3-AE 各 II ( II )2-ABC	
11	6/30	1. 矯正力の種類について説明できる。 2. 矯正力の作用様式について説明できる。 3. 歯の移動様式について説明できる。 4. 矯正力における生体反応について説明できる。	//	窪田光慶	F-4-1)- ⑦ F-4-1)- ⑧	
12	6/30	1. 固定の概念について説明できる。 2. 固定の種類について説明できる。 3. 加固定概念について説明できる。 4. 抜歯空隙利用のための固定の分類について説明できる。	//		F-4-1)- ⑦	
13	7/20	各種装置の適応症、特徴と作用機序について説明できる (1)。 (II 級用アクチバートル、ヘッドギア、オトガイ   装置、上顎前方牽引装置、スライディングプレート)	//	窪田光慶	F-4-1)- ⑥	
14	7/20				各 II ( II )4-CGHIJ	

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
15	7/26	歯科矯正学	各種装置の適応症、特徴と作用機序について説明できる (2)。 (①Ⅲ級アクチバートル、②ビムラーのアダプター、③バイオネーター、④フレンケルの装置、⑤咬合斜面板、⑥咬合拳上板、⑦切歯斜面板、⑧リップバンパー)	配布資料とスライドにて解説する。	窪田光慶	F-4-1)-⑥ 各Ⅱ(Ⅱ)4-ABCDEF
16	7/26		1. 各種装置の適応症、特徴と作用機序について説明できる (3)。 (舌側弧線装置、床矯正装置、拡大装置) 2. 舌側弧線装置の作製方法について説明できる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-⑥
17	7/28			〃		各Ⅱ(Ⅱ)4-LMNOTU
18	7/28		1. 各種装置の適応症、特徴と作用機序について説明できる (4)。 2. マルチブラケット装置の歴史的背景と特徴について説明できる。 3. マルチブラケット装置の材料について説明できる。 4. 抜歯空隙の閉鎖について説明できる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-⑥ F-4-1)-⑤
19	8/8		5. セクショナルアーチについて説明できる。 6. ダイレクトボンディング法について説明できる。 7. 矯正器具 (プライヤーなど) とその取扱について説明できる。	〃		総 (XI)15-ABCD 各Ⅱ(Ⅱ)4-KS 各Ⅱ(Ⅱ)5-BE
20	8/8		各種矯正装置を手に取り触れてみて、その装置の作用機序について理解できる。	配布資料と矯正装置の展示にて解説する。	窪田光慶	F-4-1)-⑥ 各Ⅱ(Ⅱ)4-A~W
21	9/7		1. 歯槽性反対咬合の治療方針の立案・説明ができる。 2. 機能性反対咬合の治療方針の立案・説明ができる。 3. 骨格性反対咬合の治療方針の立案・説明ができる。	配布資料とスライドにて解説する。	窪田光慶	F-4-1)-④ 各(Ⅰ)3-AB 各Ⅱ(Ⅱ)2-CD 各Ⅱ(Ⅱ)5-AB
22	9/7		1. 外科的歯科矯正治療の治療開始時期が説明できる。 2. 外科的歯科矯正治療の術前歯科矯正治療について理解し説明できる。 3. 外科矯正症例の治療方針の立案・説明ができる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-④ 各Ⅱ(Ⅱ)5-D 各Ⅳ(Ⅱ)1-Fa
23	9/12	1. 歯槽性上顎前突症の治療方針の立案・説明ができる。 2. 機能性上顎前突症の治療方針の立案・説明ができる。 3. 骨格性上顎前突症の治療方針の立案・説明ができる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-④ 各(Ⅰ)3-ABCD 各Ⅱ(Ⅱ)2-CD 各Ⅱ(Ⅱ)5-AB	
24	9/12	1. 抜歯基準について説明ができる。 2. 上下顎前突症例の治療方針の立案・説明ができる。 3. 叢生症例の治療方針の立案・説明ができる。 4. 先天欠如歯を伴う症例の治療方針の立案・説明ができる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-④ 各Ⅱ(Ⅱ)2-C 各Ⅱ(Ⅱ)2-CD 各Ⅱ(Ⅱ)5-AB	
25	9/14	1. 抜歯の歴史的背景について説明できる。 2. 抜歯の適応症・目的について説明できる。 3. 抜歯部位の連続抜歯の適応症・目的・手順について説明できる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-④ 各Ⅱ(Ⅱ)2-C 各Ⅱ(Ⅱ)5-AB	
26	9/14	1. 顎偏位症例の治療方針の立案・説明ができる。 2. 口蓋裂の治療方針の立案・説明ができる。 3. 開咬の治療法について説明できる。 4. 筋機能療法について説明できる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-④ 各(Ⅰ)3-ABCD 各Ⅱ(Ⅱ)2-CD 各Ⅱ(Ⅱ)4-P 各Ⅱ(Ⅱ)5-ABCG	
27	9/21	1. 保定装置の種類と適応について説明できる。 2. 矯正治療中の口腔清掃について説明できる。 3. 矯正装置の管理について説明できる。 4. 偶発症について説明できる。 5. ワイヤの種類とその理工学的性質、臨床応用について説明できる。	〃	窪田光慶	F-4-1)-④⑤⑨ 総 (XI)15-A 各Ⅱ(Ⅱ)4-TUVW 各Ⅱ(Ⅱ)5-FH	
28	9/21	まとめ	〃	窪田光慶		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 小児歯科学	変化に富んだ小児期は発達段階を熟知しその後の変化を理解して対応する必要がある。発達徒上にある歯列・顎顔面の正常な発育を阻害する因子を予防または発見し治療管理して健全な永久歯列へ導くことを目的とする。4学年講義、実習および5学年で学んだ小児歯科学の基礎及び臨床学の知識を整理し、系統的に結びつけて知識・技能を実際の臨床に単独で応用できるまでにすることを目的とする。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/11	小児歯科学	1. 出生から思春期まで年齢毎の身長・体重・頭囲・胸囲の大きさを説明できる。 2. 小児期の分類を説明できる。 3. 周産期・低出生体重児・極低出生体重児・超低出生体重児の定義を説明できる。 4. 生理的体重減少の状況および原因を説明できる。 5. 生理的年齢について説明できる。 6. 乳幼児および学童期の発育歯数について説明できる。 7. 原始反射および哺乳の反射について説明できる。 8. 小児の精神発達(運動機能、言語機能、情動、社会性)について説明できる。 9. 幼児の生理的特徴について説明できる。 10. Scammonの発育曲線について説明できる。	プリント・解説問題にて説明および知識を確認する。	熊坂純雄	F-4-2) F-4-2)-①  必7-A-a～c 総(V)-1-A～G 総(V)-2-A～D 総(V)-1-G
2	5/11		1. 新生児から思春期までの身長と頭長の比について説明できる。 2. 脳頭蓋と顔面頭蓋の容積比について説明できる。 3. 上下顎の発育様式を説明できる。 4. 脳頭蓋の発育葉式を説明できる。 5. 頭蓋底の発育様式を説明できる。 6. 顔面頭蓋の発育様式を説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-3)-⑤  必7-B-b 総(V)-4-A,B 総(V)-5-A,B
3	5/23		1. 乳歯の発育について説明できる。 2. 永久歯の発育について説明できる。 3. 出生時の乳歯および永久歯の歯の発育状態について説明できる。 4. 乳歯および永久歯の発育時期および発育順について説明できる。 5. 歯の発育時期と形成障害および疾患名について説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-3)-⑤  必7-B-a
4	5/23		1. 先天性欠如の頻度、歯種および疾患名について説明できる。 2. 過剰歯の障害時期、部位、種類についておよび疾患名について説明できる。 3. 埋伏歯の障害時期、部位、種類についておよび疾患名について説明できる。 4. 形態の異常について障害時期、部位、種類についておよび疾患名について説明できる。 5. 萌出の異常について障害時期、部位、種類についておよび疾患名について説明できる。 6. 歯の色調異常について障害時期、部位、種類についておよび疾患名について説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-3)-⑤  総(V)-3-F
5	5/30		1. Dental Age ことの歯列咬合の特徴を説明できる。 2. ターミナルプレインと空隙について説明できる。 3. 第一大臼歯の萌出形式を説明できる。 4. 切歯の交換期の特徴を説明できる。 5. リーウェイスペースについて説明できる。 6. 前歯部交換期の正中離開の原因について説明できる。 7. 発育段階ごとの歯列長径・幅径・周長・犬歯間幅径について説明できる。	//	熊坂純雄	F-2-3)-④  総(V)-4-C 各II-(I)-5-A
6	5/30		1. 乳歯の歯冠・歯根・歯髄・組織学的について説明できる。 2. 乳歯の生理的な吸収について説明できる。 3. 幼若永久歯の形態的・組織学的・物理化学的特徴について説明できる。 4. 萌出後の成熟について説明できる。	//	熊坂純雄	F-3-1)-①②③  必6-C-a～c 総(IV)-4-A～D
7	6/6		1. 乳歯齲蝕の特徴について説明できる。 2. 乳歯齲蝕罹患型について説明できる。 3. 乳歯齲蝕の好発部位・特徴について説明できる。 4. 幼若永久歯の齲蝕の特徴について説明できる。 5. 幼若永久歯の齲蝕予防方法について説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-2)-②  必14-B-a 総(VI)-11-B 各I-1-A 各III-(I)-1-A～D
8	6/6		1. フッ化物局所応用について説明できる。 2. フッ化物配合歯磨剤について説明できる。 3. フッ化物洗口法について説明できる。 4. フッ化ジアミン銀について効果・使用方法を説明できる。 5. 予防填塞方法について説明できる。 6. フッ化物の毒性について説明できる。 7. 斑状歯について説明できる。 8. 小児の刷牙法について説明できる。	//	熊坂純雄	C-3-2)-①②  必3-H-b 必3-J-a～c 各I-1-D,F 各I-6-A～E

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
9	6/13	小児歯科学	1. エックス線診断方法が説明できる。 2. 各年齢における平均的な口腔内状況を説明できる。 3. 乳歯および永久歯の発育が説明できる。 4. 発達段階別の小児の特徴を説明できる。 5. 小児の行動療法を説明できる。 6. 非協力児の抑制法について説明できる。 7. 小児の対応方法を年齢別に適応方法を設営できる。 8. 薬物による対応方法を説明できる。 9. 小児の治療順を説明できる。 10. 微細脳障害症候群について説明できる。	プリント・解説問題にて説明および知識を確認する。	熊坂純雄	F-1-2)-⑥ F-2-3)-⑤ F-4-2) F-4-2)-①  総(X)-1-A～C 必8-C-a～e 総(VIII)-2-A,B 総(X)-10-H
10	6/13		1. 歯冠修復の目的・適応・禁忌について説明できる。 2. 修復における留意点を説明できる。 3. 窩洞形成の留意点を説明できる。 4. 2級窩洞の特徴について説明できる。 5. 乳歯冠の適応症・利点・欠点および留意点について説明できる。 6. 幼若永久歯の歯冠修復の留意点について説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-2)-② F-4-2)-③  各III-(I)-4-A～G
11	7/7		1. 歯髄炎・歯周組織炎の臨床判断基準を説明できる。 2. 診断にともなった治療方法が説明できる。 3. 乳歯の歯髄炎の特徴について説明できる。 4. 乳歯歯髄炎の処置について説明できる。 5. 幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 6. 処置内容と使用薬剤説明ができる。	//	熊坂純雄	F-4-2)-④ F-4-2)-⑤  各III-(II)-1-A～D
12	7/7		1. 乳歯抜歯の適応を説明できる。 2. 乳歯抜歯の禁忌を説明できる。 3. 乳歯抜歯の注意点を説明できる。 4. 抜歯後の注意点を説明できる。 5. 小児の薬物に対する特性を説明できる。 6. 抜歯後の治癒機転を説明できる。	//	熊坂純雄	該当なし  必15-M-a 総(X)-2-I
13	7/13		1. 外傷の好発年齢・部位・受傷原因を説明できる。 2. 受傷の分類を説明できる。 3. 外傷の後続永久歯への影響を説明できる。 4. 外傷の状態毎の治療方針と処置方法を説明できる。 5. 永久歯外傷の治療方針と処置方法を説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-2)-⑥  各II-(I)-4-A～D
14	7/13		1. 咬合誘導の定義を説明できる。 2. 乳歯の模型分析を行える。 3. ターミナルプレインを説明できる。 4. 乳切歯の対合関係の特徴を説明できる。 5. 乳犬歯の対合関係を説明できる。 6. 混合歯列分析を説明できる。 7. 萌出余地の評価を行える。 8. 静的咬合誘導装置(保隙装置)を列挙し説明できる。 9. それぞれの保隙装置の特徴を説明できる。 10. 異所萌出に対する処置を説明できる。 11. 低位乳歯の処置を説明できる。 12. 動的咬合誘導装置について説明できる。 13. 乳歯列の不正咬合に対する処置を説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-2)-⑦ F-4-2)-⑧  各II-(I)-5-A,B 各II-(I)-5-C 各II-(I)-5-D,E
15	7/21		1. 成人と比較した小児の歯周組織の特徴を説明できる。 2. 小児の歯肉炎病名と症状を説明できる。 3. 小児の歯周炎の病名と症状を説明できる。 4. 小児に認められる特殊な歯周疾患の病名と症状を説明できる。	//	熊坂純雄	F-3-2)-④  各I-2-A 各III-(III)-1-A,B
	7/21		1. 小帯の異常について状態、臨床症状および処置方法について説明できる。 2. 口唇の病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 3. 歯肉の病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 4. 舌の病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 5. その他の粘膜疾患の病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 6. 小児の伝染性疾患について病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。	//	熊坂純雄	F-1-3)-(3)①② F-1-4)-①② D-5-2)-④ D-5-2)-②  各II-(I)-3 各IV-(I)-1-G 各IV-(I)-4-A 各IV-(I)-5-A,B 各IV-(I)-6 各IV-(II)-3 各II-(IV)-2-A,B
16	7/21		1. 心身障害児の定義を説明できる。 2. 歯科的障害者について説明できる。 3. 精神発達遅滞について説明できる。 4. 自閉症について説明できる。 5. てんかんについて説明できる。 6. 肢体不自由について説明できる。 7. 感覚器障害について説明できる。 8. 言語障害について説明できる。 9. 唇顎口蓋裂について説明できる。 10. 障害児に対する歯科的対応について説明できる。	//	熊坂純雄	F-4-4)-①  必14-B-f 総(VIII)-3-A～C 総(X)-2-J 各II-(I)-1-A 各IV-(I)-1-A

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
17	8/5	学 小児 歯科	1. 遺伝形式について説明できる。 2. 歯の先天異常について病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 3. 骨形系統性疾患について病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 4. 顔面の異常を伴う疾患の原因、臨床症状および処置を説明できる。	プリント・解説問題にて説明および知識を確認する。	熊坂純雄	該当なし  総(VI)-1-A 必14-B-f 各II-(IV)-1
18	8/5		1. 代謝・内分泌障害の病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 2. 色素沈着を伴う疾患の病名と原因、臨床症状および処置を説明できる。 3. 血液疾患・出血性素因の病名と原因、臨床症状および対応を説明できる。 4. 追記) 小児歯科領域でないが関連がある疾患について説明できる。	//	熊坂純雄	該当なし  各II-(IV)-1-V 各II-(IV)-2-F,G
19	8/25		1. 1回から9回の確認を行い、説明できる。 2. 禁忌的な条件について説明できる。	//	熊坂純雄	
20	8/25		1. 1回から9回の確認を行い、説明できる。 2. 禁忌的な条件について説明できる。	//	熊坂純雄	
21	9/7		応用問題(演習) 10回から18回までの内容について確認し、説明できる。	//	熊坂純雄	
22	9/7		特に写真を用いた応用問題を短時間に臨床の場に対応できるように多数の写真を供覧し説明できる。	//	熊坂純雄	
23	9/16		まとめ	筆記試験を行う。	熊坂純雄	
24	9/16		まとめ	//	熊坂純雄	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 医療面接	歯科医療の実践のために医療面接の基礎と臨床の知識を総合的に理解する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	6/7	医療面接	医療面接の基本的構成並びに技法を説明できる、応用できる。	パワーポイントを用いて解説を行い、演習問題により理解を深める。	森 啓	A-3-①～④ A-4-①～⑤ B-2-1)-①② B-2-2)-①～⑤ F-1-1)-⑤～⑨⑬⑭  必1-B-a～c 必8-A～C 総1-AB
2	6/7		医療面接の基本的構成並びに技法を説明できる、応用できる。	//	森 啓	A-3-①～④ A-4-①～⑤ B-2-1)-①② B-2-2)-①～⑤ F-1-1)-⑤～⑨⑬⑭  必1-B-a～c 必8-A～C 総1-AB
3	9/13		病歴記載における各項目を列挙でき、その役割を説明できる。	//	森 啓	F-1-1)-①②  必5-A～C 必10-A～I
4	9/13		口腔硬組織、軟組織の診査法を列挙でき、説明ができる。	//	森 啓	F-2-4) F-3-2) F-3-3) F-3-4)  必9-B 必10-A～I

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科放射線学	歯科医療実践のために歯科放射線学の基礎と臨床に関する総合的な知識を身につける。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/9	歯科放射線学	放射線学全般のオリエンテーション 放射線の種類、エックス線発生メカニズム・性状について理解し、説明できる。	資料を配布しパワーポイントにて解説する。	櫻井 孝	F-1-2)-①・④ 総Ⅱ-(Ⅳ)-4
2	5/9		エックス線と物質との相互作用について理解し、説明できる。 主なエックス線撮影装置の原理について理解し、説明できる。	//	櫻井 孝	F-1-2)-①・④ 総Ⅱ-(Ⅳ)-4,5
3	5/12		エックス線フィルム・増感紙の種類や原理について理解し、説明できる。	//	櫻井 孝	F-1-2)-④・⑤ 総Ⅱ-(Ⅳ)-4
4	5/12		現像処理の原理と、処理に影響を及ぼす因子について理解し、説明できる。	//	櫻井 孝	F-1-2)-④・⑤ 総Ⅱ-(Ⅳ)-4
5	5/17		画像形成の原理、エックス線写真の画質について理解し、説明できる。 画質に影響を及ぼす因子について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-④・⑤ 総Ⅱ-(Ⅳ)-4,6
6	5/17		画像検査法の選択と各種検査法の診断限界について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-⑥～⑨ 必10-E 総Ⅱ-(Ⅳ)-5,7～11,13,14
7	5/20		歯・歯周組織のエックス線検査について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-⑥,⑦ 必10-E 総Ⅱ-(Ⅳ)-7
8	5/20		顎顔面領域のエックス線検査、エックス線 CT、MRI、核医学検査、超音波検査、IVR について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-⑦～⑨ 必10-E 総Ⅱ-(Ⅳ)-8～11,13,14
9	6/3		電離放射線の生物学的作用のメカニズムと、生物学的作用に影響を及ぼす因子、組織・臓器の放射線感受性について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-②,③ 必13-A-m 総Ⅱ-(Ⅳ)-12 総Ⅱ-(Ⅵ)-9
10	6/3		放射線の影響・障害の種類について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-②,③ 必13-A-m 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-P 総論Ⅱ-(Ⅳ)-12 総論Ⅱ-(Ⅵ)-9
11	6/15		放射線管理・防護の概念、および関連法規について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-②,③ 総Ⅱ-(Ⅳ)-12 総Ⅱ-(Ⅵ)-9
12	6/15		放射線治療と、治療に伴う副作用の種類や口腔管理について理解し、説明できる。	//	川股亮太	F-1-2)-②,③ 総Ⅱ-(Ⅴ)-14
13	7/1		炎症性疾患、嚢胞・腫瘍および類似疾患の画像所見を理解し、画像診断することができる。	//	川股亮太	F-2-4)-(1)～(3) 各論Ⅳ-(Ⅱ)～(Ⅳ)

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
14	7/1	歯科放射線学	嚢胞・腫瘍および類似疾患、唾液腺疾患の画像所見を理解し、画像診断することができる。	資料を配布しパワーポイントにて解説する。	川股亮太	F-2-4)-(3) ~ (5) 各論IV -(IV),(VI),(VII)
15	7/11		放射線物理学についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-1-2)-①・④ 総II -(IV)-4,6
16	7/11		画像検査法(主として口内法、口外法撮影)についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-1-2)-④~⑨ 必10-E 総II -(IV)-4,7~11,13,14
17	7/15		画像検査法(主にデジタルエックス線撮影、エックス線CT)についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-1-2)-④~⑨ 必10-E 総II -(IV)-4,7~11,13,14
18	7/15		画像検査法(主にMRI、超音波検査、核医学検査)についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-1-2)-④~⑨ 必10-E 総II -(IV)-4,7~11,13,14
19	7/22		現像処理、および処理条件が写真に及ぼす影響についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-1-2)-④・⑤ 総II -(IV)-4
20	7/22		放射線生物学、放射線治療についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-1-2)-②,③ 必13-A-m 総II -(IV)-12 総II -(VI)-9 総II -(V)-14
21	7/29		外傷、炎症性疾患の画像診断についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-2-4)-(1),(2) 各IV -(II),(III)
22	8/22		唾液腺疾患の画像診断についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-2-4)-(5) 各IV -(VII)
23	8/22		嚢胞および類似疾患の画像診断についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-2-4)-(3) 各IV -(IV)
24	9/8		良性腫瘍および類似疾患の画像診断についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-2-4)-(3) 各IV -(IV)
25	9/8		良性腫瘍および類似疾患の画像診断についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-2-4)-(3) 各IV -(IV)
26	9/21		悪性腫瘍の画像診断についての理解を深め、練習問題を解くことができる。	//	川股亮太	F-2-4)-(3) 各IV -(IV)
27	9/21		まとめ	//	川股亮太	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科麻酔学	歯科麻酔学に関する基礎的、臨床的知識を学習し、歯科医師国家試験に対応できる能力の習得を目指す。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/26	歯科麻酔学	1. 局所麻酔薬を理解し、解説できる。 2. 全身麻酔を理解し、解説できる。 3. 精神鎮静法について理解し、解説できる。	資料を配布し、解説する。演習問題。	有坂博史	F-1-3)-(3)-①～⑥ F-1-3)-(4)-①～③ F-1-3)-(2)-①～⑤  総-(X)-6-A～H 必修15-l-abcd
2	5/26		全身管理に留意すべき全身疾患	//	有坂博史	F-1-5)  各(IV)-3～6
3	6/2		1. 偶発症について理解し、解説ができる。 2. 各種バイタルサインの状態を把握し、解説できる。 3. AHA ガイドライン2005に基づき BLS を理解し、解説できる。 4. 救急処置に用いられる薬物を理解し、解説できる。	//	有坂博史	F-1-5)  総(X)-3-A～F 必修10-E-abc 13-A,B
4	6/2		患者管理の基本	//	有坂博史	F-1-3)-(1)-⑤～⑧  必修15-b 総(VII)-1-A～I
5	6/9		患者管理の基本	//	有坂博史	F-1-3)-(1)-⑤～⑧  必修15-b
6	6/9		麻酔関連薬剤の持つ特性が理解し、解説できる。	//	有坂博史	F-1-3)-(4)-③  総-(X)-6-A～K
7	7/7		周術期麻酔管理について注意ポイントを理解し、解説できる。	//	有坂博史	F-1-3)-(4)  総-(VIII)-6-A～G 各(IV)-3～6
8	7/7		歯科領域における疼痛治療について理解し、解説できる。 緩和医療	//	有坂博史	F-2-4)-(6)-①～②  総(VI)-8-A～E 総-(X)-6-l～K
9	8/25		まとめ	//	有坂博史	
10	8/25		まとめ	//	有坂博史	
11	9/15		まとめ	//	有坂博史	
12	9/15		まとめ	//	有坂博史	

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 障害者歯科学	障害者、高齢者および全身疾患を有する者の身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。安全かつ適切な治療や歯科の対応を行えるように基礎と臨床の知識を総合的に習得する。

参考書		
書名	著者名等	発行所
高齢者歯科ガイドブック	植松 宏, 稲葉 繁, 渡辺 誠	医歯薬出版
歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学	向井美恵, 山田好秋	医歯薬出版
障害者歯科	日本障害者歯科学会	日本障害者歯科学会
高齢者歯科臨床ナビゲーション	植松 宏, 大渡凡人	医歯薬出版

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	5/18	障害者歯科学	1. 障害者（精神遅滞；ダウン症候群、自閉症、てんかん、脳性まひ、その他症候群など）の身体的、精神的および心理的特徴の必修・基本的事項を説明できる。 2. 障害者（精神遅滞；ダウン症候群、自閉症、てんかん、脳性まひ、その他症候群など）の行動調整と歯科治療上の留意点、対応法の必修・基本的事項を理解する。 3. 障害者（精神遅滞；ダウン症候群、自閉症、てんかん、脳性まひ、その他症候群など）に対する歯科保健指導について必修・基本的事項を理解する。	資料を配布し、PowerPointを使用した講義により理解を深める。その後十分な知識が習得されたか確認するため、国試に準じた形式で小テストを行い、解説する。	小松知子	F-4-4) 総論 VIII -3-A,B,C,D,E X -2-J 各論II I -1-A ~ AA IV -1-A,C,D,E ~ J,N,O ~ U,
2	5/19		1. 老化の身体的、精神的および心理的特徴の必修・基本的事項を理解する。 2. 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化の必修・基本的事項を理解する。 3. 高齢者に多くみられる疾患の必修・基本的事項を理解する。 4. 高齢者、有病高齢者の歯科治療時の全身管理の必修・基本的事項を説明できる。 5. 高齢者の歯科診療の基本について理解し、説明できる。	//	小松知子	F-4-3) 必須基本事項 7-C,D 15-AB-b 総論 6-A, B 12-A,B,C VIII -5-F,G VIII -5-A,B,C,D,E VIII -6-A,B,C,D,E,F,G X -2-L 各論III I -3-A,B,C III -3-B IV -3-A ~ N(少し)
3	6/15		1. 要介護高齢者の歯科診療について理解し、説明できる。 2. 妊産婦の歯科治療を理解し、説明できる。 3. 口腔機能検査と摂食・嚥下障害の基本について理解し、説明できる。	//	小松知子	F-4-3) 主な検査項目 11-C,D,E 総論 VIII -4-A,B,C,D,E IX -1-K,L,M,N
4	7/27		1. 摂食・嚥下リハビリテーションを理解し、必修的な内容について説明できる。	//	小松知子	F-4-3) 必須基本事項 9-C-k 15-AA 総論 VII -2-I-a VIII -5-H,I X -7-A,B,C,D
5	8/8		1. 障害者（精神遅滞；ダウン症候群、自閉症、てんかん、脳性まひ、その他症候群など）の身体的、精神的および心理的特徴の応用的事項を説明できる。 2. 障害者（精神遅滞；ダウン症候群、自閉症、てんかん、脳性まひ、その他症候群など）の行動調整と歯科治療上の留意点、対応法の応用的事項を理解する。 3. 障害者（精神遅滞；ダウン症候群、自閉症、てんかん、脳性まひ、その他症候群など）に対する歯科保健指導について応用的事項を理解する。	//	小松知子	F-4-4) 総論 VIII -3-A,B,C,D,E X -2-J 各論II I -1-A ~ AA IV -1-A,C,D,E ~ J,N,O ~ U,
6	9/20		1. 老化の身体的、精神的および心理的特徴の応用的事項を理解する。 2. 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化の応用的事項を理解する。 3. 高齢者に多くみられる疾患の応用的事項を理解する。 4. 高齢者、有病高齢者の歯科治療時の全身管理の応用的事項を説明できる。 5. 高齢者の歯科診療の応用的事項について理解し、説明できる。	//	小松知子	F-4-3) 総論 6-A, B 12-A,B,C VIII -5-F,G VIII -5-A,B,C,D,E VIII -6-A,B,C,D,E,F,G X -2-L 各論III I -3-A,B,C III -3-B IV -3-A ~ N(少し)

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1 形成的評価および総合評価	定期試験（前・後期における基礎・応用試験）、夏季必修試験による客観的評価により自分の習熟度を理解し、習熟度が不十分であった部分を復習することで必要な知識を習得することができる。

評価法 (EV)
<p>期間中に実施する本試験（基礎・必修・充実・応用試験）により、総合に評価する。</p>